

2007年10月17日

各位

株式会社バイテック
代表取締役社長 岩本 永三郎

サムスン SDI 社製有機 EL ディスプレイ販売について

株式会社バイテックは、サムスン SDI 社 (SAMSUNG SDI CO.,LTD) 製有機 EL ディスプレイ (以下、有機 EL) の販売権を取得し従来よりマーケット活動を進めて参りましたが、今秋より日本メーカー各社への本格的な販売を行います。

10月16日に KDDI 社は、サムスン SDI 社と共同で開発した 2.6 インチ / 2.8 インチワイド QVGA 有機 EL を KDDI 社が提供する携帯電話ブランド au の秋冬新製品 4 機種に採用する事にしたと発表しました。2.6 インチワイド QVGA は au design project モデルである INFOBAR2 への採用、2.8 インチワイド QVGA は、東芝社、ソニー・エリクソン・モバイルコミュニケーションズ社、日立製作所社への採用となっております。

バイテックは、日本市場への全面的な販売を担当致します。

有機 EL は、電流を流すと自ら発光する有機材を使う為、液晶のようなバックライトが不要で薄型・軽量化が出来ます。また、応答速度や色の再現性、コントラスト比に優れているディスプレイです。日本の携帯電話市場は今年からワンセグ放送対応機種が急速に伸長しています。その中で KDDI 社は映像を美しく色鮮やかに表現する為、有機 EL の積極的採用の方向を打ち出されています。

サムスン SDI 社は有機 EL を月 150 万個 (2 インチ換算) を生産、来年度には 300 万個まで増やす予定で、日本企業及び W/W で販売を積極的に推進しております。

今後の有機 EL のラインナップとしては、本年度小型サイズ (2.0 インチ ~) をリリース、2008 年から 2009 年にかけて 7.0 インチクラス、2010 年でノート PC 向けディスプレイへの進出を計画しています。

バイテックは 5 月に発表いたしました中期経営計画の販売戦略として、ソニーデバイスや、NXP 社製品等のグローバルデバイス、そしてメモリ、ディスプレイ製品を主力製品と位置づけております。この度サムスン SDI 社製有機 EL を主要なディスプレイラインナップとして加え、今後携帯電話及び他アプリケーションに対して積極的に拡販し、有機 EL 市場を開拓して参りませう。

以上